



平素は、柏崎信用金庫に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当金庫は、1924年の創業以来、常に地域の皆様と共に歩んでまいりました。

これからも、地域の皆様方に愛され、信頼され、地域経済のお役に立てるよう、また、地域金融機関として健全経営に努め、社会的責任に応えるよう、役職員一丸となって邁進してまいり所存でございます。

本冊子は、当金庫の経営理念や業務内容、業況等につき、一層のご理解を深めていただくために作成いたしました。ご高覧いただければ幸いです。

今後も、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

2020年7月

理事長 **小出 昭夫**

CONTENTS

当金庫の取組み

- ごあいさつ
- 2019年度の事業概況
- 柏崎信用金庫 SDGs 宣言・SDGs 基本方針
- 柏崎信用金庫 SDGs 現在の主な取組状況
- 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み
- 店舗の名称及び所在地

業務の報告

- 柏崎信用金庫と地域社会 ～地域との共生～
- 経営理念・基本方針・経営方針
- 信用金庫のしくみ・特質
- 内部管理基本方針
- コンプライアンスに関する事項
- 地域金融円滑化のための基本方針
- 金融ADRに関する事項
- 役職員の報酬体系に関する事項
- リスク管理の状況
- 総代会に関する事項

営業のご案内

- 商品のご案内

信用金庫のご案内

- 信用金庫と信金中央金庫

資料編

- 事業の組織図
- 理事・監事の氏名及び役職名
- 会計監査人の氏名
- 金庫の主要な事業の内容
- 主要な事業の状況(直近5事業年度)
- 事業の状況(直近2事業年度)
- 預金に関する指標
- 貸出金に関する指標
- 有価証券に関する指標
- リスク管理債権の状況
- 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額
- 貸出金償却
- 財産の状況(直近2事業年度)
- 会計監査人による監査
- 代表者による確認
- 自己資本の充実の状況

2019年度の事業概況

1 事業方針

当金庫は、協同組織の地域金融機関として、お取引先や地域発展のために積極的に取組んでまいりました。また、今期は中期経営計画「第3次ACTIVE21」(平成29年度～令和元年度)の最終年度にあたり、経営理念である「地域との共生」をより深化させるために、基本方針として「お取引先の元気と地域の活力に貢献する」を掲げ、お客様本位の課題解決型金融を追求し、「本業支援と金融」「課題解決と金融」「経営改善支援と金融」を融合させることに取り組みました。

当金庫が代表構成機関である地域プラットフォーム「かしわざき広域ビジネス応援ネットワーク」を活用した事業につきましても確実な歩みを続けております。取引先企業の課題解決に向けた専門家との人材マッチングを行う「新現役交流会」では、新潟県中小企業支援プラットフォームとの連携を図り35社が参加しました。また、地域の地場産品および特産品の開発強化ならびに販路拡大支援として「地域ブランドづくり支援事業」の実施、「各商談会への参加」に加えて、観光PRを目的として東京国際フォーラムを会場に「2019“よい仕事おこし”フェア」等の出展を実施いたしました。さらに、昨年度、「地方創生に資する金融機関の特格的な取組み事例」として、片山さつき内閣府特命担当大臣から表彰を受けた「柏崎・社長のたまご塾」については、年2回通算10期開催、入塾者延べ129名となり、創業者36名が巣立ち、創業後の伴走型支援により廃業率0%を維持しております。

また、地域との共存を果たすべく、老朽化した諏訪町支店の建て替えを実施し、より一層のサービスと利便性の向上に努めてまいります。今後も、地域の信用金庫として評価していただけるよう、役職員が一丸となって地域の皆様方の諸課題の解決に取り組む所存でございますので、引き続き、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2 金融経済環境

海外では米中の貿易摩擦、英国のEU離脱、日韓関係、さらには香港情勢の帰趨など、内外を取り巻く不安要因が払拭されないこともあり、景気の先行きに関する好材料は少ない状況にあります。

我が国経済は、政府の施策等により全体として緩やかな回復基調を維持しているとの見方もありましたが、当地における地域経済は、人口減少や事業所数減少に加え、消費増税や暖冬小雪により個人消費は大きく減少傾向にありました。さらに、長引く超低金利政策のもとで金融機関を取巻く収益環境は貸出や有価証券の運用益を中心とした利益の確保が一段と厳しい状態となっております。

こうしたなか、新型コロナウイルスの感染が世界中に拡散し、金融経済環境は想定をはるかに上回り悪化しております。国内では東京オリンピック・パラリンピックの延期、訪日客激減による観光産業の落ち込み。さらに、外出自粛やイベント中止により、多岐にわたる業種の売上減少が顕著に表れてきており、地域経済における資金繰り支援や事業継続支援が一層強く求められています。

3 業績

預金積金は期末残高で93,134百万円(前期比2.16%増加)、期中平均残高で94,024百万円(同1.27%増加)となりました。内訳として、定期性預金は期末残高で57,069百万円(同1.57%増加)、要求払預金は36,056百万円(同3.09%増加)となりました。

一方、貸出金は、期末残高で44,361百万円(同1.16%減少)、期中平均残高で45,320百万円(同3.56%増加)となりました。損益面は、有価証券関連において、保有銘柄の価格上昇に伴う売却益227百万円を計上した一方、評価損銘柄の処分による売却損126百万円を計上しました。信用コスト面においては、貸倒引当金繰入額60百万円を計上し、経常利益110百万円、当期純利益52百万円となりました。

4 事業の展望及び信用金庫が対処すべき課題

国内の金融環境は、長期化する日本銀行によるマイナス金利政策により、引き続き厳しさを増しております。また、当面の課題として、新型コロナウイルスの影響がお取引先や地域において深刻化しており、中小零細企業への支援を最優先事項として捉えております。

こうした課題のもと、令和2年度から新たな3か年中期経営計画「第4次ACTIVE21」(令和2年度～令和4年度)を策定し、具体的な経営方針として、「お客さま本位の課題解決型営業を追求する」「お客さま本位の業務展開から適正利益の計上に努める」「効率性と生産性を高め少数精鋭主義に努める」「柔軟な発想を持ち環境変化に的確に対応できる人材育成に努める」「ガバナンスの強化と魅力ある職場づくりに努める」を定めております。地域に根差した信用金庫として、課題解決型営業を追求し、お客様本位の活動を徹底するために今まで以上に活動プロセスを重視し、最終的にはお客様と共感し、潜在的ニーズ・課題を掘り起こせるレベルまで突き詰めて行く所存でございますので、今後とも、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

柏崎信用金庫は、地域金融機関としての独自性や特性を活かしながら、お客様や地域の成長・発展に資する取組みを推進し、地域社会において必要とされる金融機関であり続けることを目指します。

柏崎信用金庫は、預金・融資・為替業務など銀行と変わりがないようだけど何が違うのだろうかと思ったことはありませんか。

私たち信用金庫は、中小企業や地域にお住まいの皆様のための相互扶助、非営利を基本理念とする会員による協同組織金融機関である点が株式会社である銀行との大きな違いとなっています。

こうした理念の一方で制約がございます。預金はどなたからもお預かりできますが、融資は会員の資格を有する方が基本となっており、**会員の資格は、基本的に地区内に住所、居所、事業所を有するまたは勤労に従事する方となっています。**

法人の場合は、従業員300人を超え、かつ、資本金が9億円を超える大きな企業の場合は会員資格がございません。

私たち柏崎信用金庫の営業地区は、柏崎市、刈羽郡、三島郡など、一部の地域に限定されており、その地区内で積極的な活動を行っています。

このように、柏崎信用金庫は、柏崎地域を中心とした地域限定で、かつ中小企業やこの地域にお住まいの皆様とのお取引を行う地域金融機関です。預金や融資のみならず、長期的視点のもと、地域の課題等に市町村、商工会議所・商工会、関係機関等と連携して、「お取引先に何ができているのか」「地域に対して何ができているのか」を日々考えている柏崎信用金庫をどうぞ皆様方のお役に立ててくださいますようお願い申し上げます。



柏崎信用金庫SDGs宣言

柏崎信用金庫は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、地域金融機関としての経営理念および基本方針に基づき、誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2020年7月31日

柏崎信用金庫

理事長 小出 昭夫

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げられた国際社会共通の目標です。2030年を期限とする17のゴールと169のターゲットで構成されており、経済・社会・環境等の様々な目標達成を通じて、持続可能で多様性と包摂性のある「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しています。

当金庫の取組み

柏崎信用金庫SDGs基本方針

1. 地域経済

当金庫は、協同組織の地域金融機関として、事業性評価に基づく各種ソリューション提案やお客さま本位の金融商品・サービスの提供を実践し、地域経済の発展に積極的に取り組んでまいります。



2. 地域社会

当金庫は、協同組織の地域金融機関として、産学官金連携や信用金庫業界のネットワークを活用したパートナーシップの発揮と、積極的な地域貢献活動の取組みにより、教育・雇用・生活弱者に対して誰一人取り残さない豊かな地域社会の実現を目指してまいります。



3. 地域環境

当金庫は、全役職員が環境に配慮した活動や、商品・サービスの提供を行うことにより、地域環境の保全に取り組んでまいります。



「柏崎しんきん」の経営理念は【地域との共生】です!

基本方針は【お取引先の元気に貢献する】

【地域の活かに貢献する】です!!



SDGsを実践し地方創生を進め経営理念と基本方針の達成を目指します!



柏崎信用金庫SDGs ー現在の主な取組状況ー

1. 地域経済



- ① **創業塾【柏崎・社長のたまご塾】** 柏崎市・柏崎商工会議所との連携事業
平成31年3月に「地方創生に資する金融機関の特徴的な取組事例」として片山さつき内閣府特命大臣から表彰を受けました
令和元年10月に第10期を開催(延べ129名卒業・36名創業)
- ② **【チーム柏崎ファクトリー】** 柏崎市・柏崎商工会議所との連携事業
開放特許技術の斡旋や販路開拓等の応援をしています
- ③ **【新現役交流会】** 関東経済産業局の支援をいただき、大手企業OBと当金庫取引先との人材マッチングを毎年実施しています
- ④ **【販路拡大支援】** 「うまさぎっしり新潟・食の大商談会」「しのもめ信用金庫主催“フードビジネス個別商談会”」「城南信用金庫主催“よい仕事おこしフェア”」「東京東信用金庫主催“ひがしんビジネスフェア”」「新潟県しんきん個別商談会」等に参加して地域事業所の販路拡大を応援しています
- ⑤ **【地域ブランドづくり支援事業】** 柏崎市・新潟伊勢丹・新潟博報堂と連携し、地場産品・特産品の開発強化、販路拡大等の総合支援事業を実施しています
- ⑥ **【お弁当2020】** 新型コロナウイルスの影響が大きい飲食業者様を応援するため、毎週木曜日を役職員全員で地元飲食店様のお弁当を取る日と定め、期間通算で2020食以上を利用するプロジェクトを展開しています
- ⑦ 幕張メッセで開催された「機械要素技術展」出展企業に助成金を贈呈しました
 - 脱炭素社会を目指す柏崎地域エネルギービジョンに協力しています
 - IOT推進協議会に職員を派遣しています

2. 地域社会



- ① 「にいがた子育て応援企業」の認定取得・・・現在、「くるみん」認定取得を目指しています
- ② 「エコキャップ活動」ペットボトルキャップの回収箱を全店に設置し、再生プラスチック原料として換金した資金を、様々な社会貢献活動に役立てています。(令和2年6月現在 累計1,335,835個回収)
- ③ 役職員による献血を毎年実施しています(令和2年6月 一般のお客様含め18名)
- ④ 一日本支店長を実施しています(令和元年8月 第18回 市内9小学校24名参加)

- ⑤ 小学生お仕事体験塾(令和元年8月 第6回 52名参加)
- ⑥ 中学生職場体験の受入(令和元年 7/3・7/29・7/30・7/31・8/1開催、4名受入)
- ⑦ 柏崎子ども大学事業中学生向けキャリア教育「いきいきゲーム」に講師派遣(令和元年11月 5回目の派遣)
- ⑧ 職員による小学生および各種団体を対象に郷土史(地元での戊辰戦争)の授業・講演を実施
- ⑨ 親子アニメ映画鑑賞会(令和元年8月 第21回 1,141名ご来場)
- ⑩ 柏崎しんきんカップ学童野球大会開催(令和元年9月 第18回 14チーム 240名参加)
- ⑪ しんきんカップミニバスケットボール新人大会開催(令和2年2月 第23回 29チーム 280名参加)
- ⑫ 通級指導教室で使用するタブレット端末・デジター教科書24台贈呈(令和元年12月)
- ⑬ 障がい者就労支援の一環として、商品や作品の購入・PRのお手伝いを実施しています
- ⑭ 全店で特殊詐欺被害防止のポスターを掲示して注意喚起しています
- ⑮ ウォーターポロクラブ柏崎応援定期預金の取扱い(令和元年度 29万円を支援金として贈呈)
- ⑯ 柏崎市にバス停用ベンチを寄贈(令和元年度 市内3か所に設置)
- ⑰ 柏崎市斎場に車椅子5台贈呈(令和2年6月)
 - 女性活躍推進室の設置と女性理事の登用
 - 柏崎市との「がん協定」。早期発見治療奨励
 - 役職員向け「がん腫瘍マーカー検診」の実施
 - 認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の方やご家族を見守る活動をしています
 - 障がい者雇用(「法定雇用障害者数」を充足しています)
 - 高齢者見守り活動

3. 地域環境



- ① エコアクション21の認証を取得し、全役職員が環境に配慮した活動を行っています
- ② 海岸清掃や営業店舗近隣の清掃活動を行っています
 - 里山環境づくりネットワークの活動に賛同し、柏崎刈羽地域植樹祭に参加しました
 - 緑のカーテンを設置し、夏の省エネに取り組んでいます

4. パートナーシップ



- ① 地域プラットフォーム「かしわざき広域ビジネス応援ネットワーク」を設立 平成25年12月
代表構成機関：柏崎信用金庫
構成機関：柏崎商工会議所・刈羽村商工会・出雲崎町商工会
西山町商工会・高柳町商工会・北条商工会・黒姫商工会
アドバンスト・ビジネス・ダイレクションズ(株)・(株)クーリエ・アドバイザーズ
新潟工科大学・新潟産業大学
- ② 柏崎商工会議所・柏崎信用金庫「企業支援連携・協力に関する覚書」締結 平成28年6月
- ③ 新潟工科大学・柏崎信用金庫「技術・知識・情報・ノウハウ等の融合による地域発展」を目的に協定を締結 平成28年7月
- ④ 柏崎市・柏崎信用金庫「包括連携協定」締結 平成28年11月
- ⑤ 新潟産業大学・柏崎信用金庫「地域産業振興と人材育成」を目的に協定を締結 平成29年6月
- ⑥ 刈羽村・柏崎信用金庫「包括連携協定」締結 令和2年7月
 - 関東経済産業局への職員派遣や新現役交流会の開催

1.地域経済



2019年「柏崎・社長のたまご塾」事業が「地方創生に資する金融機関の特徴的な取組事例」として、片山さつき内閣府特命担当大臣より表彰されました

「柏崎・社長のたまご塾」は「あなたの夢の実現に寄り添います」を事業コンセプトに支援します



2016年
第19回信用金庫
社会貢献賞
会長賞を受賞



2016年度に社会貢献活動において全国ナンバーワン金庫になりました!

①「柏崎・社長のたまご塾」について



「柏崎・社長のたまご塾」は、当金庫が2015年度より柏崎市と連携し、柏崎市内での創業者の増加を意図して開催している創業塾です。第1回～第10回までの入塾者は延べ129名(うち卒塾者延べ118名)となっており、これまで創業者を36名輩出しています。(2020年3月末現在)

● 柏崎・社長のたまご塾の歴史

- 2014年・柏崎市と創業塾企画 立案
 - ・未来の社長(たまご)の育成を意図し、当金庫、柏崎市、柏崎商工会議所が連携・実施。
- 2015年・3月：創業塾ネーミングコンテスト開催
 - ・5月：第1期生：26名(定員:20名)→ 10名創業
 - ・10月：第2期生：21名(定員:20名)→ 5名創業
- 2016年・5月：第3期生：12名(定員:20名)→ 6名創業
 - ・10月：第4期生：12名(定員:20名)→ 4名創業
- 2017年・5月：第5期生：11名(定員:20名)→ 4名創業
 - ・10月：第6期生：10名(定員:20名)→ 2名創業
 - ・10月：社長のたまご塾まつり・同窓会を開催。
- 2018年・5月：第7期生：9名(定員:20名)→ 2名創業
 - ・10月：第8期生：8名(定員:20名)→ 2名創業
 - ・10月：柏崎・社長のたまご塾まつりを開催。
- 2019年・5月：第9期生：11名(定員:20名)
 - ・10月：第10期生：9名(定員:20名)→ 1名創業
 - ・10月：柏崎・社長のたまご塾まつりを開催。



たまご塾同窓会 パネルディスカッションの様子

2020年3月末現在延べ118名が卒塾され36名が創業しました。
創業者の廃業率は0%です。



●カリキュラムについて

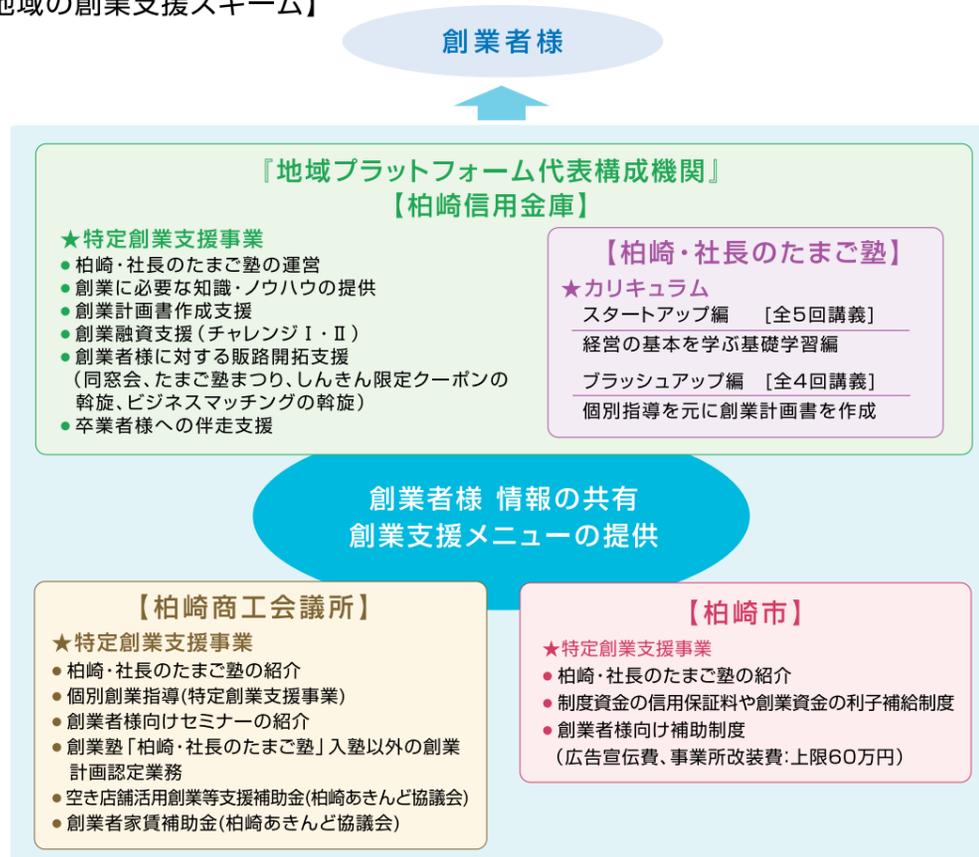
スタートアップ編5回 1講義 2時間(必須 基本学習)、ブラッシュアップ編4回1講義 4時間(選択 個別指導)の2段階構成とし、創業者の段階、悩みに沿った支援を行っております。

開催日程	テーマ	内容
第1回 【開塾式】【経営】	創業のタネを整理	社長に必要な3つの役割
第2回 【販売経路】	マーケティング	輝くか埋もれるか
第3回 【財務・資金】	創業とお金	取引方法で必要資金は変化する
第4回 【人材育成】	創業と人材	事業を成長させるのは誰か
第5回 【事業計画】	まとめ&事業計画書とは?	事業計画書をつくってみよう

開催日程	テーマ	内容
第6回 【個別課題整理】	事業計画の見える化	事業計画を見える化し、強みと課題を発見
第7回 【個別課題解決】	課題を解決する	個別の課題ごとにレベルに合わせた個別指導
第8回 【個別課題解決】	課題を解決する	個別の課題ごとにレベルに合わせた個別指導
第9回 【手続き・資金】	必要な手続きとは?	創業に必要な手続き書類をつくる

※ブラッシュアップ編では、講師以外にも、当金庫営業店担当者や地域支援室担当者による個別指導を実施し、事業計画書の作成を支援。
 ※カリキュラム以外でも、受講生から要望があれば、当金庫によるフォロー(事業計画作成支援等)を実施。
 ※卒塾後、市から創業者向け制度資金の信用保証料や、創業資金の利子補給、創業時に市内事業者を利用して事業所改装や広告宣伝を行った場合には上限額60万円の補助あり。

【柏崎地域の創業支援スキーム】



● 柏崎・社長のたまご塾まつりと同窓会

2017年10月に「柏崎・社長のたまご塾」同窓会を発足し、創業者による同窓会発足イベント(柏崎・社長のたまご塾まつり)を開催いたしました。同窓会は創業者や卒業生同士の交流・情報交換の機会創出、創業し成長期に入る企業様の支援、これから創業を目指している方の支援・情報提供を目的としております。

2018年10月には、「第2回 たまご塾まつり」として、柏崎市の「秋の収穫祭」に創業された9名の皆様と参加いたしました。

2019年10月には、「第3回たまご塾まつり」として、柏崎市の「秋の収穫祭」に創業された7名の皆様と参加いたしました。

地域別	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	累計実績
柏崎・社長のたまご塾	創業計画策定を支援した件数	12	8	8	8	48
	受講者のうち卒業生の数	42	24	16	16	118
	創業(起業)件数	15	10	6	4	36

またまた やります!

第3回 柏崎・社長のたまご塾まつり in 秋の収穫祭

出店料 無料

＜日時＞
令和元年 10月 27日(日) 9時 30分～15時 00分

＜会場＞
柏崎市文化会館アルフォーレ及び駅前公園

＜出店内容＞
食品! 雑貨! サービス! 企業PR! なんでもOK!

申込締切: 令和元年9月 18日(水)

・申込方法
裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、同窓会事務局へ提出願います。
 ・注意事項
加工品販売、飲食提供をされる方は臨時食品営業許可を各自でとる必要があります。
調理担当者の方は検印による検査が必要です。
その他、詳細につきましては別紙の要領をご覧ください。

【主催】秋の収穫祭実行委員会
【お問い合わせ先】
柏崎・社長のたまご塾同窓会事務局 柏崎信用金庫地域支援室 担当: 山田、福井
〒945-0051 柏崎市東本町 1-2-16 TEL: 0257-24-3321
FAX: 0257-22-7747 E-mail: shien@ksbank.jp

◆ 櫻井市長による基調講演の様子



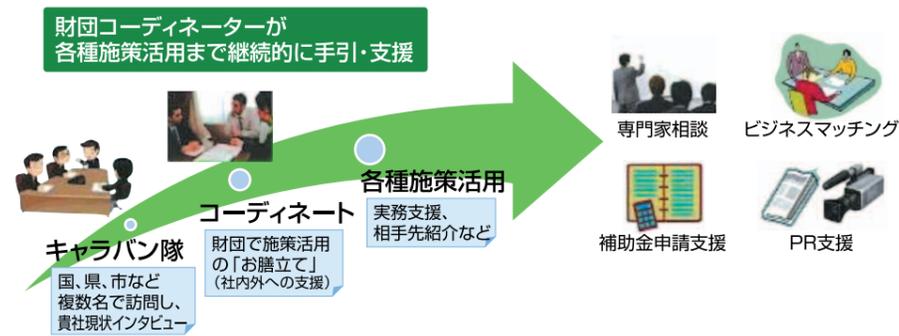
②「チーム柏崎ファクトリー」によるソリューション支援を実施



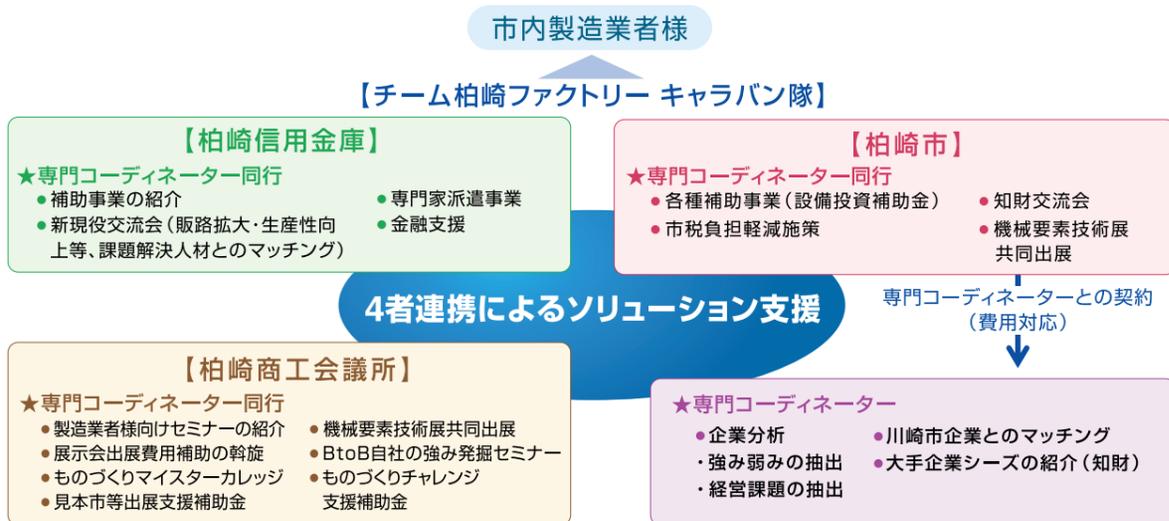
● 事業の目的

本事業は、当金庫・柏崎市・柏崎商工会議所・専門コーディネーターに加え、関東経済産業局やJETRO等の他行政機関と連携し、専門家支援・補助金申請支援・ビジネスマッチングの提案といったソリューション支援を企業に対しワンストップで提供するものです。

チーム柏崎ファクトリーによるソリューション支援を通じて、柏崎市で事業を営む事業者様の事業発展と課題解決により、地方創生に資することを目的に実施しております。



【柏崎地域のものづくり支援スキーム】



【2019年度の取組み】

2016年度から2018年度までは市内製造業者様に対する企業訪問を中心にソリューション支援を行ってまいりましたが、2019年度は知的財産の活用に関した支援を行いました。

● 知的財産交流会

知的財産交流会とは、大企業が所有する開放特許や特許商品を中小企業が活用することで、製品開発や新事業創出を促進するマッチング会です。2019年度は専門コーディネーターの推薦で、大手食品会社を招聘し知的財産交流会を実施しました。

開催日時・場所 日 時：2019年9月5日(木) 13:00～16:30 参加者 企業数：8社(9名)
場 所：柏崎商工会議所4階 特別会議室

● 知的財産交流会フォローアップ事業

2020年2月27日(木)に大手食品会社の特許商品を活用した「試作研究会」を開催しました。



③ 新現役交流会



新現役交流会とは？

地域の中小企業が抱える経営課題(新商品開発、販路拡大、生産フロー改善、人材・労務管理など)の解決にあたり、主に首都圏在住の高度な知識・ノウハウ・人脈を持つ大手企業OBであるシニア人材を引き合わせる人材マッチング会です。今回は長岡信用金庫、三条信用金庫、協栄信用組合と連携して開催しました。

開催日時・場所

日 時：2019年9月20日(金) 13:00～17:30
場 所：シティホールプラザアオーレ長岡アリーナ

参加者・面談数

企業数：35社(柏崎5社、長岡16社、三条11社、協栄信組3社)
新現役者数(シニア人材)：44名
総面談数：126件



◆ 新現役交流会の流れ

- ① 2019年6月3日～
・参加企業の募集
・参加企業の経営課題、支援ニーズのヒアリングを実施
- ② 2019年8月16日～2019年9月1日
・参加新現役の募集
・関東経済産業局のデータベースに登録されている新現役に対して案内を送付
- ③ 2019年9月20日
・新現役交流会を開催
- ④ 2019年10月2日～
・新現役からの継続支援を希望する企業に対し、当金庫が間に入り、課題解決支援を継続実施する

【これまでの成果事例】新現役交流会参加企業に対する経営課題解決の支援

- ・海外展開ニーズを持つ企業に対しては、対象国の法律や認証制度等の情報提供や、参加企業と現地法人をつなぐことができる人材の紹介を実施しました。
- ・生産管理を経営課題に抱える企業に対しては、工場の視察や実際の工程管理・受注管理の状況を確認した中で、各企業に沿った改善方法をアドバイスしました。
- ・新規販路獲得ニーズを持つ企業に対しては、首都圏企業にルートを持つ新現役から受注マッチングの支援と、県外企業同行営業活動を実施しました。

④ 販路拡大支援に関する取組状況



◆うまさぎっしり新潟・食の大商談会に参加

2019年9月6日(金)に池袋サンシャインシティにて、「うまさぎっしり新潟・食の大商談会」が開催されました。本商談会は、「新潟県の食を首都圏に広めたい」、「販路を開拓・拡大したい」という目的で開催されており、当日は出展者数110社(当金庫からは3社が出展)、来場バイヤー数は1,300名を超え、活発な商談が行われました。



◆第7回しののめ信金フードビジネス個別商談会に参加

2019年10月3日(木)にエテルナ高崎にて「第7回しののめ信用金庫フードビジネス個別商談会」が開催されました。当日は参加企業数86社(当金庫からはバイヤー2社、サプライヤー2社が参加)、北関東首都圏を中心としたバイヤー49社を招聘し、合計331件の活発な商談が行われました。



◆2019“よい仕事おこし”フェアに参加

2019年10月7日(月)・8日(火)に東京国際フォーラムにて、「2019“よい仕事おこし”フェア」が開催されました。当金庫はブースを設置して特産品の販売を行ったほか、柏崎市の観光PRとしてステージイベントに参加し、柏崎の観光資源の紹介や魅力の発信を行いました。



◆東京東信用金庫主催「ひがしんビジネスフェア」に出展

2019年11月15日(金)に両国国技館にて、「ひがしんビジネスフェア2019」が開催されました。当金庫もブースを設置して特産品の販売を行ったほか、柏崎の観光資源の紹介や魅力の発信を行いました。



◆しんきん個別商談会に参加

2019年11月27日(水)に、燕三条地場産業振興センターにて「しんきん個別商談会」が開催されました。当日は参加企業数48社(当金庫からは2社が参加)、バイヤー11社にて活発な商談が行われました。



⑤ 地域ブランドづくり支援事業



●地域ブランドづくり支援事業とは?

本事業は、柏崎市の地域ブランドの強化を目的とし、当金庫・柏崎市・(株)新潟三越伊勢丹・(株)新潟博報堂の4者が連携し、2018年5月にスタートしました。(株)新潟三越伊勢丹・(株)新潟博報堂の両社の強みであるマーケティング・ブランディングから商品開発・販売機会提供までの専門的知識に加え、当金庫の有するネットワークを活用して、開発から販売までの総合的な支援を行うことで市内企業の魅力発信を実現するものです。本事業への参加は公募制とし、参加企業を絞り込み集中した開発支援を行います。

●取組み内容

・2018年度の取組み

2018年度は5社の応募があった中、2社を選定し集中支援を実施しました。

主カブランドのリブランディングとして、商品構成の見直し及びパッケージデザインの全面刷新によるリブランディングを実施しました。笠島地域の文化や特産品の発信による地域の活性化として、地域のアイコン(ロゴマーク)製作、ウェブサイトの立ち上げ、地域の特産品を使用したメニュー提供を実施しました(ANAクラウンプラザホテル、NIIGATA越品ダイニング)。

・2019年度の取組み

2019年度は4社の応募があった中、2社を選定し集中支援を実施しました。

これまでにない雪国新潟での熱帯果物(バナナ)のブランド化を目指すため、市場分析やターゲットングを検討し、ネーミングやロゴ、パッケージデザイン、販売方法の検討を実施しました。また、地元グルメ“鯛茶漬け”のお土産化を検討しました。

8月31日(土)に笠島海岸にて、「かさしま海藻まつり」を開催し、かさしま海藻御膳の販売を行いました。30食が完売し、大盛況のうちに終えることができました。

当金庫では、今後も市内事業者様の「開発力強化」並びに「販路拡大」をお手伝いし、地元地域の活性化を積極的に支援してまいります。



	地域別	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
販路拡大支援を行った先数	地元	4	10	26	28
	地元外	18	22	11	8
	海外	2	3	0	0

⑥ ケータリング事業応援プロジェクト「お弁当2020」2020年5月

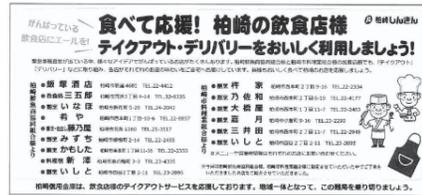


当金庫では、新型コロナウイルスの影響が大きい飲食業者様を支援するため、ケータリング事業応援プロジェクト「お弁当2020」を展開しております。

この事業は、5月14日から10月1日までの毎週木曜日を、役職員全員で地元の飲食店様のお弁当を取る日と定め、期間通算で2020食以上を利用することで地元を応援したいという企画です。

また、「柏崎鮮魚商協同組合様」「柏崎市料理業組合様」の加盟店の中から、テイクアウトやデリバリーが可能な飲食店様を新聞広告により紹介しました。

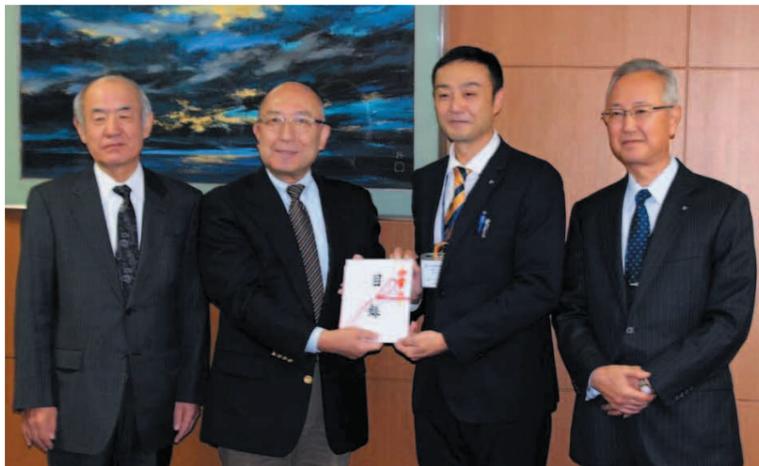
当金庫は地域金融機関として、地元のお役に立てる活動を継続してまいります。



⑦ 「機械要素技術展」出店企業に助成金を贈呈



2019年11月5日(火) 柏崎商工会議所において「第24回機械要素技術展」に出展する企業に対する助成金の贈呈式が執り行われ、助成金30万円を贈呈させていただきました。



2. 地域社会

① 「にいがた子育て応援企業」の認定を取得



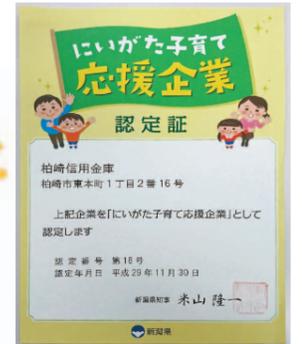
2017年10月より、「子育て応援企業定期積金」の取扱いをしております。当金庫も「働く女性への子育て応援」の取組みが評価され、県内で18番目の取得、柏崎市内及び県内信用金庫では一番初めに、「にいがた子育て応援企業」の認定企業となりました。

当金庫は、入庫した職員が様々な人生の節目を経ても、長期間にわたり、モチベーション高く働くことができるよう、職場環境の整備や、子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

女性職員の「育児休業取得率」は100%で、取得職員は全員、満1歳の誕生日前まで取得しており、保育所の入所待ち等、特別な事情には柔軟に延長対応しています。

また、休業中の職員への情報提供や復帰後の育児短時間勤務利用100%など、職場復帰への意欲向上を維持できる環境にも努めています。

2018年度より、終業時間の管理徹底を図っており、定時退庫することにより、お子さんを持つ職員の「家庭での時間」にゆとりが生まれ、安定的な仕事と家庭の両立に繋がっています。



② エコキャップ活動



当金庫は、2012年度よりエコアクション21の認証事業所として環境問題への取組みを行っております。取組みの一環として、2010年度よりペットボトルキャップの回収箱を全店に設置し、再生プラスチック原料としてNPO法人エコキャップ推進協会を通じて換金した資金を、医療支援や障がい者支援、子供たちへの環境教育等、さまざまな社会貢献活動に役立てています。

2020年6月末現在、累計1,335,835個を回収しています。



③ 献血を実施 2020年6月



【信用金庫の日】の社会貢献活動として、6月18日(木)に「献血」を実施しました。
当日は当金庫東支店の駐車場に献血車を配備し、一般のお客様と役職員を合わせた18名が献血に協力しました。
献血は毎年実施しており、今後も継続してまいります。



⑤ 小学生お仕事体験塾に参加 2019年8月



8月18日(日)に、第6回「小学生お仕事体験塾」が柏崎市文化会館「アルフォーレ」で開催され、柏崎しんきんアルフォーレ支店に52名の小学生が体験に来てくれました。
私達、柏崎信用金庫の願いは、「地元で働きたい。この町の力になりたい。」と思ってもらうことです。
将来、1人でも多くの若い力が地元を盛り上げてくれることを期待しています。



④ 小学生体験学習「1日本支店長」を開催 2019年8月



1998年から毎年恒例となりました「1日本支店長」を8月6日(火)・8日(木)に開催し、市内の9小学校、24名の児童から参加頂きました。午前中は、本部で「金融機関の役割」や「お金について」のクイズなどを行い、午後からは、各営業店に行き、実際に通帳を作成したり、お客様の接客をして「しんきんの仕事」を体験して頂きました。
また、新潟財務事務所様からも、毎年「お金の役割」についてお話いただいております。



⑥ 中学生職場体験や職場訪問を実施 2019年7月・8月



7月3日(水)・7月29日(月)・30日(火)・31日(水)・8月1日(木)に中学生「職場体験」・「職場訪問」を実施しました。
「柏崎信用金庫とは」から勉強を始め、「窓口対応」や「渉外活動」を実際に体験して頂きました。短い時間でしたが、この職場体験で何か得たものがあれば、大変嬉しく思います。



⑦ 中学生を対象にキャリア教育授業を実施 2019年11月



11月21日(木)に柏崎市立第二中学校にて、かしわざきこども大学事業中学生向けキャリア教育コース「いきいきゲーム」の授業を行いました。「いきいきゲーム」とは、楽しみながら自然な形で世界経済や社会の仕組みを学べる体験型シミュレーションゲームで、柏崎市が取り組んでいる事業です。当金庫は2015年度から職員を講師として地元の中学校に派遣しております。



⑨ 第21回親子アニメ映画鑑賞会 2019年8月



8月9日(金)に、柏崎市文化会館「アルフォーレ」にて、第21回親子映画アニメ鑑賞会を開催しました。今回は、「ボス・ベイビー」を上映し、第1部(昼の部)514名・第2部(夜の部)627名の合計1,141名の皆様からご来場いただきました。会場には、今年も「えちゴン」が駆けつけ大盛り上がる1日でした!



⑧ 郷土史の講演を実施 2019年10月



10月7日(月)・8日(火)に、当金庫職員が大洲小学校の6年生14名を対象として、幕末の柏崎を救った郷土の偉人「星野藤兵衛」について授業を行いました。

「鯨波戦争などの郷土の歴史」、「星野藤兵衛の活躍と心意気」を学んだ他、実際に現地を訪れフィールドワークを行いました。先人達の苦勞があつてこそ、現在、私達がこの柏崎で生きていることを伝えると共に、柏崎の未来についても考えてもらいました。

2017年から実施している「星野藤兵衛」についての授業・講演会は延べ15回になります。



「柏崎今昔物語・星野藤兵衛とその生き方」

幕末期の戊辰戦争において、柏崎で繰り広げられた「鯨波戦争」の実態と地元商人「星野藤兵衛」の活躍を当時の資料をもとに編集しました。郷土の名士の足跡は、「柏崎信用金庫」にも繋がり、地域共生の理念として確実に受け継がれています。

⑩ 第18回柏崎しんきんカップ学童野球大会を開催 2019年9月

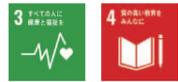


9月8日(日)・14日(土)・15日(日)に「第18回柏崎しんきんカップ学童野球大会」を開催し、合計14チーム、240名の選手達が熱戦を繰り広げました。

※2020年度は9月5日(土)、6日(日)、12日(土)に開催予定です。



⑪ 第23回しんきんカップミニバスケットボール新人大会を実施 2020年2月

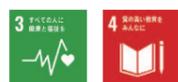


2月8日(土)、9日(日)に「第23回柏崎しんきんカップミニバスケットボール新人大会」を柏崎市総合体育館で開催し、【チャンピオンシップの部】【フレンドシップの部】男女合計29チームが熱戦を繰り広げました。

※2020年度は2月6日(土)、7日(日)に開催予定です。



⑫ 柏崎市にタブレット端末24台を贈呈 2019年12月



12月3日(火)柏崎市役所において、通級指導教室で使用するタブレット端末24台の贈呈式を行いました。このタブレット端末は「教科書の本文を読み上げる」「多感覚を使って文字を習得する」などの教科書アプリが利用でき、児童生徒への学習支援に大きな効果が期待できます。

柏崎市には、「通級指導教室」が8教室あり、1教室あたり3台の寄贈により、小集団指導など、多様な学習形態での指導が可能となります。



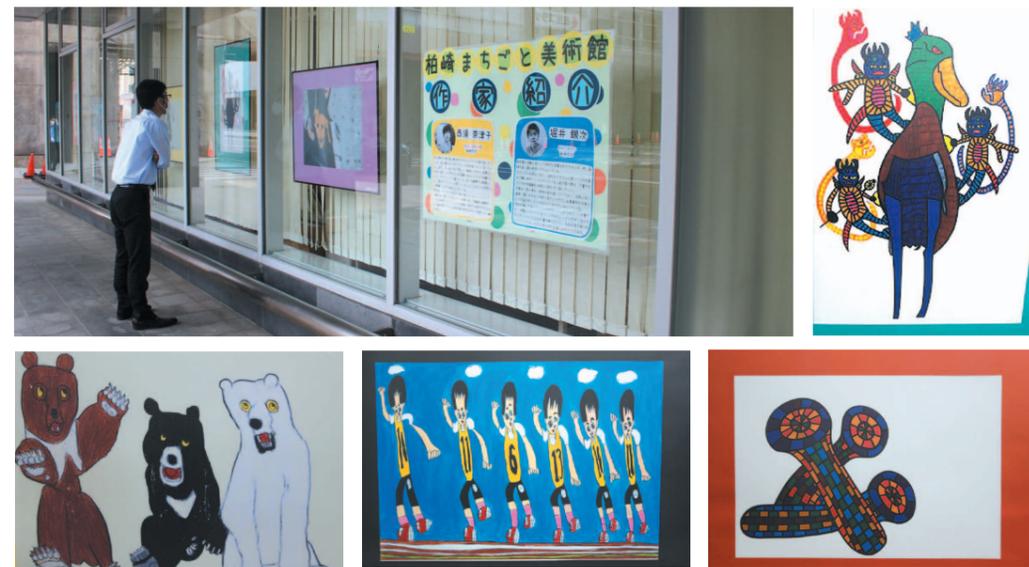
⑬ 「柏崎まちごと美術館」を本店で開催 2020年5月



当金庫本店の正面ウィンドーにおいて、社会福祉法人ロングラン様による絵画展「柏崎まちごと美術館」を5月1日から6月30日まで開催しました。

この絵画展は、障がいのある人の作品レンタルを通じて、障がいのある人と社会、人と人の縁を結び、経済価値だけでなく社会価値も同時に育む事業です。

展示作品は、県内外で活躍する堀井銀次さんおよび西須奈津子さん(共に市内在住)によるカラフルかつ繊細な作品で、歩道側に向けて展示し、多くの方から鑑賞して頂きました。



社会福祉法人ロングラン様による絵画制作実演会・

絵ハガキ販売会を開催 2020年6月



6月15日の「信用金庫の日」に合わせ、「柏崎まちごと美術館」の作者である堀井銀次さん、西須奈津子さんをお招きして絵画制作の実演会を行いました。同時に、両氏の絵ハガキ販売会も開催され、当金庫は「障がい者就労支援」の一環として、全役職員で絵ハガキを購入しました。



社会福祉法人こすもすの会様の活動を支援 2020年6月



社会福祉法人こすもすの会様では、みその製造・販売をしており、就労者の方が一粒一粒手作業で大豆を選別し、丁寧に製造しています。

当金庫では2018年度より、同施設の手作りみそについての「魅力発信」「販路拡大」のお手伝いをさせていただいており、障がい者就労支援の一環として6月15日の「信用金庫の日」に合わせ、全役職員で手作りみそを購入しました。



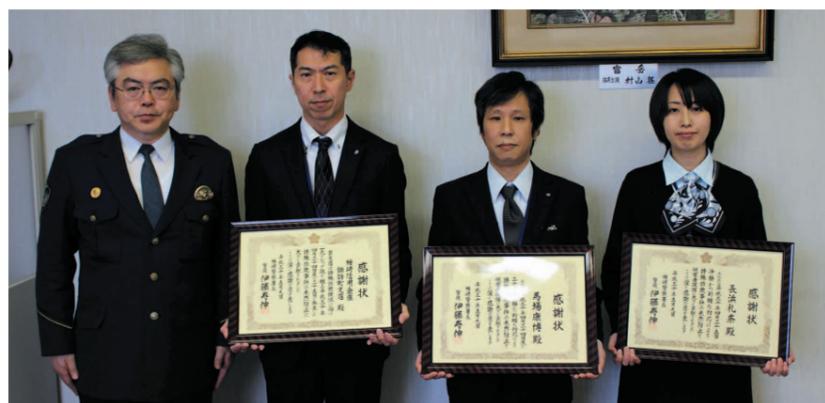
14 特殊詐欺被害の防止呼びかけ



2018年度より、全店で特殊詐欺に対する注意喚起のポスターを掲示する活動を行っております。

当金庫は、お客さまの大切な財産を守ることも社会的な使命と考え、今後とも窓口で声掛けなどの親身な対応を継続して参ります。

なお、2018年度は、特殊詐欺被害を未然防止した功績が認められ、柏崎警察署長様から2回表彰を受けております。



15 ウォーターポロクラブ柏崎に支援金を贈呈 2019年9月



9月26日(木)に、第95回日本選手権水泳競技大会(水球競技)壮行会が行われました。

当金庫では、「ウォーターポロクラブ柏崎応援定期預金」の取扱いを行っており、2019年度は2回募集を行い、預入総額の0.01%相当額にあたる合計29万円を一般社団法人ウォーターポロクラブ柏崎に贈呈しております。



16 柏崎市にバス停用ベンチを寄贈 2019年8月



地域の皆様のお役に立てるよう、市内東本町1丁目・2丁目のバス停3か所に「ベンチ」を寄贈させていただきました。

今後も、地域の皆様のお役に立てるよう、地域貢献活動に取り組んで参ります。



17 柏崎市に車椅子を寄贈 2020年6月



6月23日(火) 柏崎市役所において、柏崎市斎場で使用する車椅子5台の贈呈式を行いました。現行の車椅子は老朽化しているため、安心して施設を利用していただけよう、地域貢献活動の一環として寄贈させていただきました。

当金庫は、今後とも継続した「地域貢献活動」に取り組んでまいります。



3. 地域環境

1 エコアクション21



当金庫は2012年度より、エコアクション21の認証事業所として、二酸化炭素排出量(電気・ガス・業務車両燃料消費)の削減、廃棄物排出量の削減とリサイクル率の向上、総排水量の削減、グリーン購入の推進、エコ関連商品の開発・販売等の、環境保全に向けた取り組みを積極的に推進しています。



2 地域ボランティアに参加 2019年5月・10月



当金庫では年2回、地域ボランティアとして各店周辺の清掃活動等を行っています。

5月23日(木)に店周清掃を行い、役職員94名の参加により総重量213.5kgのゴミを回収し、近隣町内の美化に貢献しました。

また、10月26日(土)に「柏崎マラソン」の企業ボランティアとして64名が参加し、市外からのランナー等を歓迎する「のぼり旗」の設置と周辺道路の清掃を行いました。



4. パートナーシップ

1 地域プラットフォームの取組み



● かしわざき広域ビジネス応援ネットワークの概要について

【設立日】

2013年12月2日

【設立目的】

地域の共通する課題・テーマを検討するとともに、地域の中小企業・小規模事業者のビジネス創造、経営改善、事業再生等の支援事業を行い地域の発展に寄与することを目的として設立。

【構成機関】

《代表構成機関》 柏崎信用金庫

《構成機関》 柏崎商工会議所、出雲崎町商工会、西山町商工会、刈羽村商工会、北条商工会、黒姫商工会、高柳町商工会、新潟工科大学、新潟産業大学、(株)クーリエ・アドバイザーズ、アドバンスト・ビジネス・ダイレクションズ(株)

【活動内容】

- ・地域企業の経営相談(当金庫との取引有無は問いません)
- ・地域の活性化
- ・中小企業支援施策セミナーの開催
- ・創業塾の開催
- ・構成機関勉強会の開催

当金庫は、この地域にお住まいの皆様やこの地域の事業所様限定の協同組織金融機関です。そして長期的視点のもと、地域の課題等にも行政・商工会議所・関係団体等と連携して対処していかなければならない使命を持った金融機関です。

もっとも重要なことは、当金庫の決算内容ではなく、「お取引先の元気に貢献する」「地域の活力に貢献する」…これが、柏崎信用金庫の存在意義であると認識しています。

2 柏崎商工会議所との「企業支援連携・協力に関する覚書」を締結

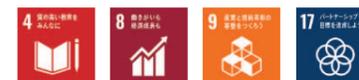


「地域経済の活性化と発展に貢献するため、小規模事業者の経営課題の解決に向けた支援を行うこと」を目的としております。柏崎商工会議所会員様のうち、小規模事業先を対象に事業承継支援をはじめとする経営課題・支援ニーズ調査を実施し、その調査書に基づいて生産性の向上及び課題解決に向けた訪問活動を展開しております。

(平成28年6月20日:西川会頭と)



3 新潟工科大学との連携に関する協定書を締結



新潟工科大学とは、次のような連携を行っております。

- 高柳町おこし事業
高柳町デザイン大賞
第1回「お酒のラベル」第2回「ショッピングバッグ」第3回「イメージキャラクター」
 - 次世代エネルギーの研究
 - 開放特許等の知的財産活用(川崎モデル)
 - 防災ラジオ(明るい柏崎計画) 柏崎市の防災無線入れ替えに伴い、市内事業者が連携して防災ラジオを製作する計画
- (平成28年7月1日:長谷川前学長と)

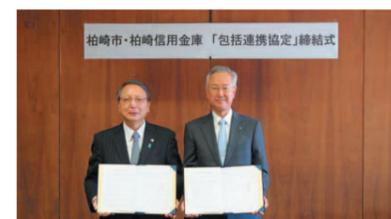


4 柏崎市との「包括連携協定」を締結



地方創生の諸課題に取組み、地域活力の推進、産業の振興及び市民サービスの向上を図ることを目的としております。

- 開放特許等の知的財産活用(川崎モデル)及びビジネスマッチング
 - 創業支援業務の連携
 - 事業承継事業の連携
 - 観光誘致活動の連携
 - がん協定
 - 高齢者等の見守り活動…等
- (平成28年11月2日:会田前市長と)



中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み

当金庫は、地元金融機関としての期待に応えるため「地域との共生」を経営理念とし、中小企業の健全な発展と地域住民の生活向上に貢献するため「地域密着型金融推進計画」を策定しておりますが、2019年度（2019年4月～2020年3月）の取組み状況について、次のとおり概要を取りまとめました。

また、2016年9月、金融庁から金融機関における金融仲介機能を客観的に評価する「金融仲介機能のベンチマーク」が公表されました。当金庫も従来より、地域社会の一員として、経営基盤である地域の繁栄に貢献し続けていくため、地域の面的再生及び社会貢献活動への積極的な参画に努めており、ベンチマークの活用により自己点検・評価に活用していくとともに、金融仲介機能の質を向上させ一層の地域活性化に努めております。

地域密着型金融に向けた当金庫の取組状況について

●事業性評価に基づく取組み

お取引先企業の事業の内容や成長可能性等を適切に評価（事業性評価）し、融資や本業支援等を通じて、地域産業・企業の生産性向上や円滑な新陳代謝の促進を図り、地方創生への貢献に努めております。

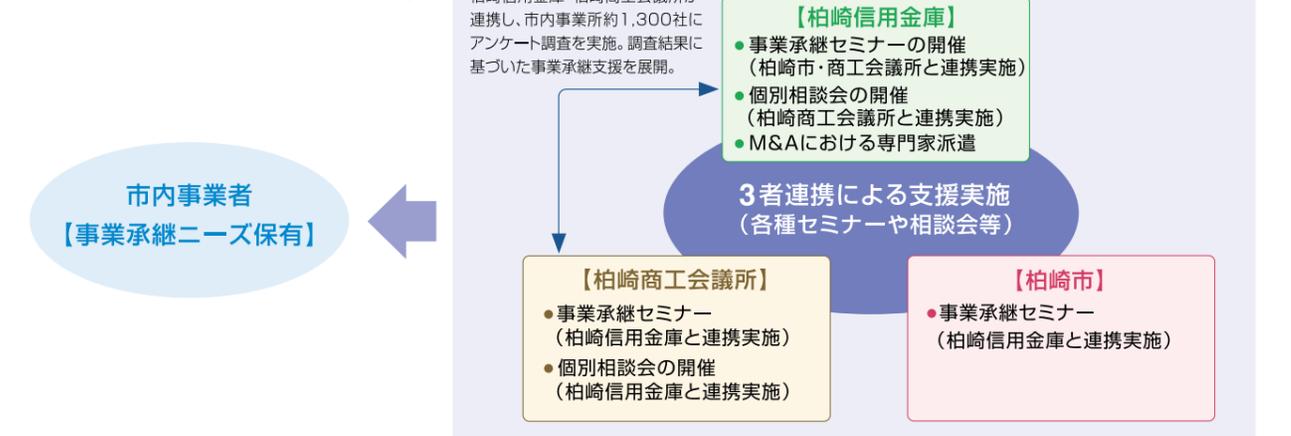
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	累計実績
事業性評価に基づきお取引先企業の課題解決に向けたご提案を行った先	事業性評価に基づいたご提案先	24	42	28	37	131
	うち労働生産性の向上に資するご提案先	7	1	4	5	17

●事業承継支援

お取引先企業の事業承継に係る課題について、新潟県事業引継ぎ支援センターをはじめ柏崎市、柏崎商工会議所との連携を図り、継続的支援に努めております。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	累計実績
事業承継支援先数（社）	9	11	6	7	33

【柏崎地域の事業承継支援スキーム】



●経営者保証ガイドラインに関する取組み状況

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しております。また、経営者保証の必要性につきましては、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
新規に無保証で融資した件数	163	289	273	270
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	8.88%	15.22%	14.65%	15.65%
保証契約を解除した件数	23	31	22	16

●経営改善支援・事業再生

「新潟県中小企業再生支援協議会」「新潟県中小企業再生支援センター」や外部専門機関との連携による事業再生支援を継続的に実施しております。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
当金庫メイン取引先のうち経営改善提案先数	当金庫メイン取引先数	546	518	510	505
	うち経営改善提案先数	13	10	10	9

柏崎市との連携事業

《柏崎市との連携事業の一例》

- 創業支援業務（柏崎・社長のたまご塾）
- チーム柏崎ファクトリー
- 事業承継支援
- 省エネルギーセミナー
- 工業技術セミナー
- 観光誘致活動の連携
- 地域ブランドづくり支援事業
- 柏崎で買って!食べて!使いましょ!プロジェクト
- がん協定 早期発見治療を目的に検診の奨励
- 高齢者等の見守り活動
- 児童育成事業（いきいきゲーム）



2018年7月18日（水）

しののめ信用金庫・上信電鉄株式会社に理事長と櫻井市長が表敬訪問。

2019年10月7日（月）～8日（火）

「2019“よい仕事おこし”フェア（会場：東京国際フォーラム）」に参加し、柏崎市の観光PR、地域商材の物販を行いました。

2019年11月15日（金）

「ひがしんビジネスフェア2019（会場：両国国技館）」に参加し、柏崎市の観光PR、地域商材の物販を行いました。

⑤ 新潟産業大学との連携に関する協定書を締結

「両者が保有する人的・物的資源の活用により、地場産業の振興と人材の育成を図り、地域社会の育成に寄与すること」を目的としております。

今後、RESAS（地域経済分析システム）を用いて柏崎市の人口動向や産業の分析を行い、地域活性化案を連携して立案していく予定です。

（平成29年6月13日：北原前学長と）



⑥ 刈羽村との「包括連携協定」を締結



地方創生の諸課題に取組み、地域活力の推進、産業の振興及び住民サービスの向上を図ることを目的としています。協定締結後は、特に農業振興を重点項目として、地域の課題解決に取り組んでいます。

【連携・協力内容】

- ・地域経済の活性化に関すること
 - ・地域産業の振興に関すること
 - ・地域を担う人材の育成に関すること
 - ・防災・防犯に関すること
 - ・健康増進・福祉の支援に関すること
 - ・文化・スポーツの振興に関すること
 - ・その他、刈羽村と柏崎信用金庫が必要と認めること
- （令和2年7月1日：品田村長と）



経営支援に関する取組み

●経営改善支援先に関する取組状況

＜2019年度＞

経営改善支援先:11先

＜内訳＞メイン先：9先 うち 中小企業再生支援協議会 4先
再生支援センター 2先
外部コンサル導入先 6先
（※重複利用あり）
他行主導先：1先 うち 中小企業再生支援協議会 1先
2020年3月末現在

2020年3月の金融再生法開示債権額について（単位:百万円、%）

	債権額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	263	100.00
危険債権	1,245	92.35
要管理債権	1	100.00
合計	1,509	93.69

※十分な引当をしてじっくり支援

●販路拡大支援に関する取組状況

【取引先の本業支援】

販路拡大支援

※水色は2019年度に取り組んだ支援活動

	市内		県内		北関東	首都圏		海外
		個別商談	個別商談	柏崎信用金庫・新潟県中央 中小企業支援 プラットフォーム 新現役交流会	しのめ 信用金庫 フードビジネス 個別商談会	流し商談		個別商談
BtoB	柏崎市 知的財産 交流会	新潟県しんさん 個別商談会				うまさざっしり新潟 食の大商談会		JETRO バイヤー紹介
開催日	2019年9月5日	2019年11月27日	2019年9月20日	2019年10月3日	2019年9月6日			実施中
BtoB・C	個別商談				個別商談	個別商談		
	地域ブランド づくり 支援事業				ひがしん ビジネスフェア	2019 "よい仕事おこし" フェア		
開催日	2019年6月7日～ 2020年3月31日				2019年11月15日	2019年10月7日・8日		
BtoC	個別商談							
	柏崎・社長の たまご塾まつり	柏崎しんさん 特別限定 クーポン						
開催日	2019年10月27日	2019年度138先 を対象に実施						

BtoB : 企業間での商取引
BtoB・C : 企業と企業及び消費者との取引
BtoC : 企業と消費者との取引



◆しのめ信用金庫フードビジネス個別商談会の様子 (B to B)



◆たまご塾まつりの様子 (B to C)

「産・学・金」連携の取組み

【高柳町との取組み】

2013年・石塚酒造 × 新潟工科大学コラボ企画 立案 ※「高柳町デザイン大賞」「ブランディング」

2014年・第1回 高柳町デザイン大賞 開催 石塚酒造 × 新潟工科大学コラボ商品「きつね参り」開発
※1ヶ月の販売数40本の酒が1ヶ月で900本を販売
・「十日旬酒」が高島屋の通信販売商品に選定

2015年・第2回 高柳町デザイン大賞 開催 ショッピングバッグ(伝わる袋) 開発
・デザインマッチング ※8社商品化 上越市の商業施設でテスト販売→ふるさと納税お礼品

2016年・第3回 高柳町デザイン大賞 ※高柳町イメージキャラクターの開発

【良寛コーヒーパッケージデザインリニューアル】

「良寛コーヒー」の新たなパッケージデザイン制作を新潟工科大学の学生に講義の一環として取り組んでもらいました。2019年3月に東京の表参道にある「ネスパス新潟館」で公開審査会を開催し、グランプリに輝いた作品を基にパッケージのリニューアルを行いました。2019年6月に新デザインの発表会を実施し、えんま市で新パッケージの先行販売を行い、2日間で871本を販売しました。2019年7月から一般販売を開始しています。



【みそパッケージデザインリニューアル】

社会福祉法人「こすもすの会」が販売する味噌のパッケージデザイン制作を新潟工科大学の学生に取組んでもらい、2019年3月に「アルフォーレ」で公開審査会を開催しました。



柏崎しんきん特別限定クーポン 2019年6月

●事業の目的

当金庫は、2013年度より「しんきん年金友の会限定クーポン」として、当金庫で年金を受給（年金予約者）されるお客様に発行していましたが、2015年度に地域経済の活性化を意図して「柏崎しんきん特別限定クーポン」にリニューアルし、幅広く当金庫のお客様に配布してまいりました。

2017年度は、柏崎市のプロジェクトに柏崎商工会議所および当金庫が連携して、消費者と事業者とのマインド向上を図ることで景気の停滞感を払拭し、より一層の地域経済の活性化に寄与することを目的に商品券等を景品とするスタンブラリーを展開しました。

●参加企業の推移

名称	しんきん年金友の会 限定クーポン		柏崎しんきん特別限定クーポン				
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
参加企業数	15社	17社	25社	33社	53社	115社	138社



海外展開支援

当金庫では、以前から地域企業の海外展開のお手伝いを行うため、関東経済産業局、日本貿易振興機構（JETRO）との連携を実施しております。

「五代目 原惣右工門工房」様が台湾・東南アジアを中心に展開する「HANABIプロジェクト」（シンガポール著名デザイナーとのコラボレーション）作品発表会を「原酒造株式会社」本社コンベンションホールにて開催（2019年6月6日～10日）しました。



- 市内製造業者が開発した製品を東南アジアに販売するため、大手商社OBを招聘し、レクチャー支援を実施。
- 東南アジア各国への輸出入に関する条約及び法律などのレクチャーを実施。
- JETRO現地駐在員とテレビ電話で繋ぎ、現地の情報を収集。

その他地域貢献

●民謡流しに参加 2019年7月

7月24日（水）、柏崎市の本格的な夏の到来を告げる「ぎおん柏崎まつり」の「民謡街頭流し」に、当金庫の役職員76名が参加しました。



●創立95周年 柏崎信用金庫支援団体合同旅行 2019年5月26日・27日・28日

新元号元年を祝う 足立美術館・出雲大社・姫路城の旅 参加人数 31名



●第42回信交会（年金友の会）旅行 2019年4月23日・24日

特別名勝上高地と日本三名泉 下呂温泉の旅 参加人数 147名



店舗の名称及び所在地

1 本店・本部



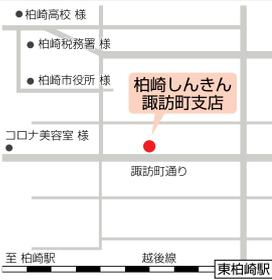

〒945-0051 柏崎市東本町1丁目2番16号(モ－リ工2内)
 TEL 0257(22)2101(代) FAX 0257(22)7089
 [本部]
 TEL 0257(24)3321(代) FAX 0257(22)7747

5 南支店




〒945-0822 柏崎市穂波町8番11号
 TEL 0257(24)1551(代) FAX 0257(24)4264
日曜日ローンプラザ 毎週日曜日 10:00～15:00

2 諏訪町支店

〒945-0063 柏崎市諏訪町11番32号
 TEL 0257(23)2236(代) FAX 0257(24)4659

6 半田支店




〒945-0812 柏崎市半田2丁目6番17号
 TEL 0257(24)8211(代) FAX 0257(24)4519

3 四谷支店



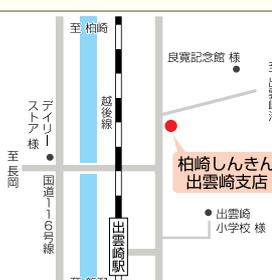

〒945-0046 柏崎市四谷2丁目4番43号
 TEL 0257(23)3530(代) FAX 0257(24)4660

7 東支店




〒945-1351 柏崎市大字上田尻1307番地1
 TEL 0257(32)2040(代) FAX 0257(32)2041

4 出雲崎支店

〒949-4353 三島郡出雲崎町大字川西80番地
 TEL 0258(78)3101(代) FAX 0258(78)3889

: AED(自動体外式除細動器)設置店

